

## **5. コーディネーターからの報告 ●●●●●●●●●●●●●●●●**

## 富山大学 男女共同参画推進室

コーディネーター 須摩 文子

## 学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援



全8回の支援講座は、のべ200人に受講いただき、うち9割の方からお寄せいただいたアンケート結果に基づいて、ご報告いたします。

受講者の「年齢」は、20代から60代まで幅広く、前半は50～60代が半数以上、後半は30～40代が約6割で、特に後半は30代がのべ50人でした。

「就労状況」は、2 割弱が育児休暇中、4 割強が求職活動中、また、約 3 割は就労中の方々です。

「受講目的」は、①知識・教養を深めたい、②仕事（キャリアUP）に役立てたい、③キャリアや人生について考えるきっかけにしたい、④求職活動に繋がりたいが上位でした。

「育児休暇中のキャリア UP への取り組み状況」について、育休中の女性は多忙で、「講座の受講は現実的には難しいのでは?」というご意見もありました。しかし、多くの方がお子さんを連れて参加され、30～40代を中心に約半数は「育児休暇中にキャリア UP を図るための取り組みをした」または「今後取り組みたい」と回答。富山県のアンケート結果と同様に「結婚・出産を機に一度仕事から離れた女性は再就職やキャリア UP への意欲が大変に高い」ことが分かりました。また、「子育て中は時間がなかった」という50～60代も子育てや仕事が一段落した今だからこそ「学び」に対する高い意欲が感じられました。

「今後学びたいこと」は、①人間関係やコミュニケーション能力向上のスキル、②仕事や生活に活かせる心理学、③自己実現・キャリア UP に役立つ内容など、まずメンタル面のテーマが多く、続いて④働くために必要な法律・制度や社会保険の知識、⑤ビジネス経済（経営・財務）の知識などでした。

最後に、本事業は「オーダーメイド型支援」を特徴とし、講座終了後「コーディネーターによる就職・キャリア相談」と「小児科医師による育児・健康相談」のコーナーを設け個別のご相談にも対応しました。ご希望によりマザーズハローワークへお繋ぎしたり、富山県や富山県女性財団、富山大学・大学コンソーシアム富山の関連講座をご紹介するなど各機関が連携しながら情報提供や支援を行いました。

「託児」は無料で行い約 60 人が利用されました。「もし託児が無かったら参加したくてもできなかった」「1 才未満の子を預かってもらえると育休中の友人を誘いやすい」というお声が多く、今後の開催にも、無料の託児と駐車場の完備が不可欠と思われます。

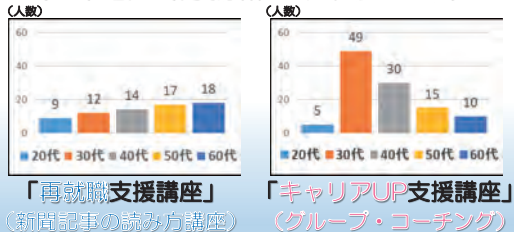
「講座受講前後の就労状況の変化」は、アルバイト・パートなどで再就職された方が4人、自営業を始められた方が2人、育児休業からの復帰が4人、職業訓練の開始が1人です。

全ての講座終了後に実施した「最終アンケート」には、「新聞の読み方が変わり、世の中の流れが身近になって、自分の問題として捉えることができるようになった」、「社会復帰することへ、前向きに考えられるようになった」、「就職活動へのモチベーションが上がった」等のご感想や「50代以上の女性を対象に第2の人生を歩むための知識・スキル講座を希望します」、「復職後も参加できるように土日の開催を検討して欲しい」、「もっとSNSでの情報発信があるとよい」というご要望もいただいています。

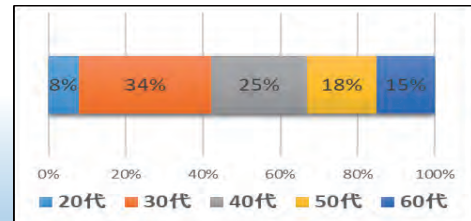
アンケートのご報告は以上ですが、今日は、受講者の方々にも何人かお越しいただいています。前半・後半を通して託児を利用しながら参加いただいた泉さんと、後半のキャリア UP コースを全て受講いただいた永本さんのお二人にご感想をお伺いしたいと思います。

泉さん、永本さん、よろしくお願いします。

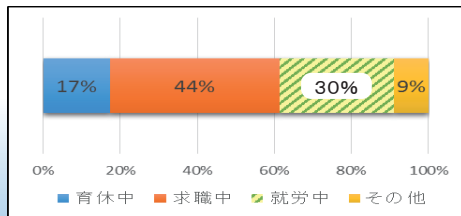
## 1. 年齢（再就職・キャリアUP）



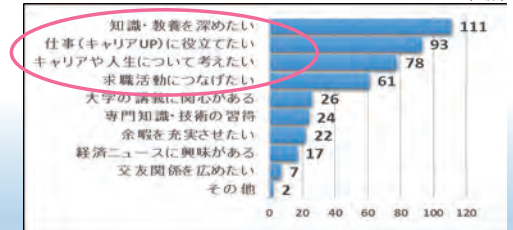
## 2. 年齢（全 体）



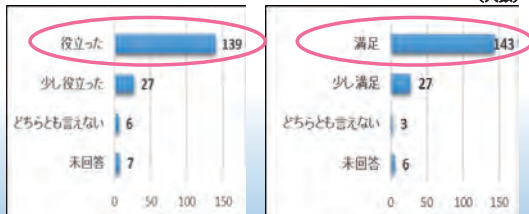
## 3. 勤務（就労）状況



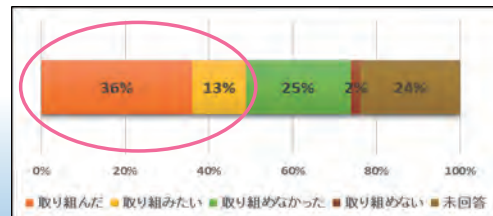
## 4. 受講の「目的」



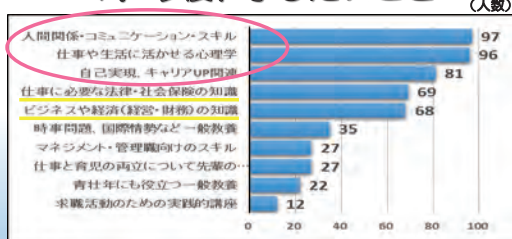
## 5. 目的の「達成度」と「満足度」



## 6. 育児休暇中の「キャリアUP」



## 7. 今後、学びたいこと



## 8. 個別相談・機関連携・託児室



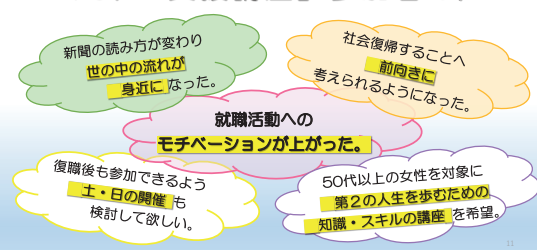
## 9. 講座受講後の就労状況

「受講者アンケート」より (回答 60/有効 58)

	就業中	育児休業中	求職活動中	職業訓練中	その他	合計
講座受講前	21	4	23	1	1	50
講座受講後	29	2	14	2	3	50
(増 減)	8	▲2	▲9	1	2	

アルバイト・パートなど 4人、 自営業 2人、  
育休からの復帰 4人、 職業訓練の受講 1人

## 10. 「支援講座」参加者の声



## Ⅲ

ミニフォーラム  
女性が身元よく輝くキャリア形成のために

## 受講者からの追加発言

泉 麻奈美さん  
(20代：育児休業中)

私は現在1歳の子を育児中で、この事業は会社からのお知らせで知りました。育休後、会社に復帰することを希望していましたが、事情があって退職し、今、再就職先を探しているところです。

今回の講座前半では、富山大学の現役の先生方より経済のあらゆる面から新聞の読み解き方を教えていただきました。恥ずかしながら普段あらゆるニュースや情報はスマホでしか見ていなかったのですが、新しい発見が多く、育児中の私からすると本当に久しぶりにこんなに頭を使ったなぁと思うような内容でした。正直、学生のころは勉強が好きというわけではありませんでしたが、先生方の講座を聞いて新しい分野に向けて学ぶことがとても新鮮に感じ、あっという間の2時間でした。

後半のセミナーでは、多くの参加者の方とワークショップやグループ討論などを通してお話する機会がたくさんあり、普段子供と2人であることが多い私にとっては、とても楽しい時間でした。また、先生方の講座は、内面的なことや精神面に関するとても興味深い内容で、すぐにでも実践できるような具体的なご指導もいただくことができました。今までの人生を振り返り、まずは自分自身がどのような人なのか自己理解を深め、その上で仕事の面ではどうだったか、キャリアの視点で自分自身を見つめ直すことができました。自分はどんな仕事をしたいのか、これまでのキャリアを整理したうえで、自分の強みや足りないことは何か等、これから就職活動を進めるにあたり、具体的に考えられる良い機会になりました。

子供と一緒にいられる時間は本当に楽しいのですが、毎日家事と育児の繰り返しで、何となく過ぎていく毎日でしたが、今回の講座に参加して普段と違う場所で普段出会えない方々と新しい発見を得ることができる2時間は本当に非日常的で楽しみでもありました。

素敵な機会をありがとうございました。

## 受講者からの追加発言

永本 美紀さん  
(40代：現在4時間勤務・正社員を目指して就職活動中)

現在私は、教育現場で4時間のパートで仕事をしています。大学を卒業してから教育に携わっていましたが、もともと富山の出身ではなく、子育て中におじいちゃんおばあちゃんがない状況で、仕事を辞めざるを得なくなり、10年間子育てに専念していました。そして、子どもが大きくなってから、やはり自分のことを見つめ直す機会が増え、4時間のパート勤務ではありますが働いています。

そこでも、4時間でしか働いていない自分を見つめ直す機会があり、この「キャリアアップ支援講座（後半）」のチラシを見つけて「行ってみよう！」と思い参加しました。

仕事をしていると言えども、自分のことを見つめ直す機会がなく、今回の講座で客観的に見つめ直すことができ、自分の「5年後10年後のなりたい姿」というものをイメージすることができました。

私は40代で、育児休暇はもう終えてしまっています。これから先、40代でも中途採用として自分がやりたい仕事に就ける場所があるのかどうか。ハローワークへも行ってみますが、パートなど短い時間の仕事はあるのですが正社員はなかなか見つかりません。

40代で正社員として、どうやって働けるのだろうか？と心配していましたが、今回いろんな会社の方のお話を聞けて、「あっ！働けるんだ。」ということが少しわかったような気がしました。これから、就職活動中の原動力として頑張っていきたいと思います。

ありがとうございました。





女性にとって働きやすい職場は、男性にとっても働きやすいはずであり、男女ともにイキイキと働くことができる職場環境を目指したい。

#### 濱西（北陸電力株）

当社では育児休暇制度は整いつつあるが、その期間中にも能力開発ができるようなサポート制度が課題となる。また、仕事と介護の両立支援も必要であり、今後は誰もが輝けるように支援を進めていきたい。

#### 松澤（富山第一銀行）

女性が働き続けるための課題について、男性が知るということが大切である。

当行では「イクボス宣言」をしているが、男性社員が女性の課題や問題を理解、認識した上で女性の活躍について支援していく必要がある。

#### 梅川（株）プレステージ・インターナショナル富山 BPO タウン）

当社は、社員の8割が女性であり、かつ、20～30代の社員が半数を占める。女性が結婚、出産を経験しながら働く中、当社では社内託児所を整えている。ただ、子どもが小学校に就学した途端、早い時間での帰宅が必要となり、フルタイムで働けない場合に引き続き育児短時間制度の利用を求める声も多い。

社内の制度改正とともに、女性が働きやすい環境づくりのためには、富山県にも学童保育の充実・拡大への取り組みをお願いしたい。今後、富山県とも力を合わせて働きやすい環境を整えていきたい。

#### 中嶋（株）廣貫堂）

女性が出産・育児を経験しながら復職して働き続けるためには、「家族の協力があってこそ」と、思っている。最近では、核家族も多く、育児休暇を延長して苦勞している人もいる。男女平等の時代、女性が気持ちよく働くためには男性の協力が不可欠となっている。

#### 牧野（富山県女性財団）

女性のライフステージに寄り添った制度が必要である。（出産・育児後の）再就職に際して短時間・パートを希望する人、フルタイムを希望する人など女性はいろいろな働き方を望んでいる。女性の活躍を推進するため会社側が管理職になることを勧めても、本人や家庭の事情でスムーズにいかないのが女性の特徴であり、現実である。

今回のシンポジウムでは、企業側がいろいろな働き方ができる仕組みを準備していることがわかったが、その点が多くの女性に伝わっていないのが残念なことである。今後、富山県女性財団（サンフォルテ）の支援講座でも紹介し、それぞれのマッチングができると良い。

#### 中川（ハローワーク富山）

本事業の「支援講座」を何度か見学した際、受講者の皆さんがお子さんを預け、ひとりの女性として積極的に学ぶ姿を見て「女性はすごい」と感動した。

女性は、仕事、家事、育児など毎日忙しく、仕事のことばかりを考えてもらえない。ましてだらだらと残業もしてもらえないので、その時々に応じた気持ちの切替えが男性より上手である。その点を「強み」として活躍できるようにハローワークでも支援をしたい。気軽に来所いただいて、状況や希望を相談してほしい。求職者、求人側の間に立ってマッチングをしていきたい。

### 須摩（富山大学コーディネーター）

後半の「キャリア UP 支援講座」では、キャリアの視点で自分の人生を振り返ることの大切さを学んだ。毎日、働き続けていると（人生をゆっくり振り返ることは）なかなか難しいが、出産・育児休暇中、求職中だからこそ時間も取れるのでその機会に自分自身を見直し、キャリア UP につなげることが大切である。

そのような時に、文部科学省の「学びの入り口から出口まで寄り添う支援」や、来年度、富山県が新たに開設する「富山県人材活躍推進センター」の「女性就業支援センター（マザーズジョブとやま）」などが、ひとりひとりの状況に合わせ丁寧に相談にのってもらえるシステムや相談窓口になると良い。

### 鈴木（座長）

多様な価値観を大切にしながら、研究機関としての大学に何が求められているか、どのような対策が効果的か、各機関が助け合って一緒に考えていくことが必要である。

本事業の「学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援プログラム」は、富山県でも新年度の就職支援施策として採用していただき、新たな展開があるかも知れない。

皆さまからご助言をいただきながら、今後の発展につなげたい。

## ～ ミニフォーラム 参加者アンケートより ～

- \* 各企業の現状報告を聞いて、育児休暇からの復職がしっかりできる取り組みがされていることがわかり、働きやすい環境が整ってきていることに安心感が持てた。(20 代 女性)
- \* 結婚・子育て・介護等女性が関わる仕事以外のことがあっても働けるような勤務先の受け入れ（時短や休業の制度、託児など）が必要。(20 代 女性)
- \* （女性のキャリア形成について）数値目標を掲げた取り組みをしている企業、6～7 時間の時短勤務制度や、途中入職者でも時短制度を取りやすいような企業があることが分かった。(40 代 女性)
- \* 子育て中の女性に理解を示す働きやすい職場風土づくりが必要。(40 代 女性)
- \* 実際の就職につなげられるように、いろいろな企業の仕事内容の紹介があると嬉しい。(40 代 女性)
- \* 各企業の取り組みやハローワークの相談事例（求職者の希望・企業側の求人）について、大変参考になった。コーディネーターの報告から、県内各機関の連携等この事業の成果が素晴らしいものであることがわかった。(50 代女性)
- \* 女性のキャリア形成や再就職支援のためには、ハローワークからの説明にもあった企業内コンサルティング（セルフ・キャリアドック制度）を導入し、個人が主体的に自分のキャリアについて中長期的なプランを考え支援を得ながら進んでいくことが必要だと思う。  
このような事業の中で、個別面談の機会と合わせて研修を実施していくことが大切。(50 代 女性)
- \* 女性は、子育てを体験して男性よりも多くを学んで適応力もあり、いかなる場合でも男性よりも強いと思う。(女性のキャリア形成や再就職支援は) 男性側の意識改革に力を入れないと変わらない。(60 代男性)

## Ⅲ

ミニフォーラム  
女性が身軽しく輝くキャリア形成のために

## IV 総括

### 1. 受講者（事後）アンケートの結果

「学び・キャリア形成支援事業」（全8回）終了後、受講者全員に事後アンケートの協力を依頼、以下の7点について追跡調査を行った。（回答50名／送付80名）

- ①受講した講座
- ②講座で学んだ内容を再就職やキャリアアップに活かせると思った点
- ③再就職やキャリアアップのために受講している講座やセミナー（今後も含めて）
- ④講座受講前後の勤務（就労）状況の変化
- ⑤再受講の希望
- ⑥再就職やキャリアアップ今に役立つ講座内容の希望
- ⑦本事業や男女共同参画推進事業に対する意見・要望（①②⑦については、次頁以降に報告）

#### ③再就職やキャリアアップのために受講している講座やセミナー（人）

サンフォルテ「再就職サポート講座」	4
サンフォルテ（富山県委託）「女性の再就職パワーアップ応援講座」	3
サンフォルテ（富山県委託）「産休・育休からの職場復帰準備講座」	1
富山県民カレッジ「自遊塾」	3
ハローワーク「公共職業訓練」	4
大学コンソーシアム富山「知の宝庫を開く」	1
富山大学「公開講座」	4
富山県起業未来塾学士会「本気塾」	1
市町村主催の講座・介護初任者研修・英語のアプリ	3

#### ④支援講座受講前後の勤務（就労）状況の変化（人）

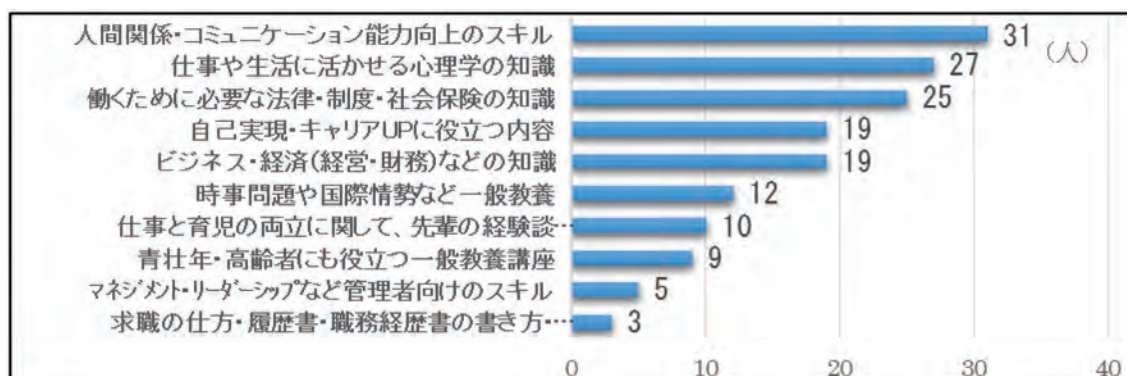
	就 業 中	育 児 休 業 中	求 職 活 動 中	職 業 訓 練 中	そ の 他	合 計
受 講 前	21	4	23	1	1	50
受 講 後	29	2	14	2	3	50
（ 増 減 ）	8	▲ 2	▲ 9	1	2	0

・再就職決定（パート）4人、自営業 2人、育休からの復帰 4人（新規2人）、職業訓練開始 1人

#### ⑤再受講の希望（人）

是非参加したい	20	参加したい	23	どちらともいえない	7	合計	50
---------	----	-------	----	-----------	---	----	----

#### ⑥再就職・キャリアアップのために今後希望する講座（複数回答）





①受講講座		②今後の仕事に役立てたい（役立てることができる）と 思った点。	③今後の講座や男女共同参画推進事業についての意見や 要望。	④就労の変化	
前半	後半			受講前	受講後
	○	・脳の使い方（が分かった）。 ・自分の今までを振り返ることができて良かった。 これから自分がどうしていききたいかを考える機会になった。	・託児付きの講座で、子どもと離れて集中して受講できて良かった。 ・講師の SNS で知り受講した。もっと SNS でも講座案内があれば、受講したい人もおられたのでは？	求職中	復職 自営業 事務
○	○		・託児付きの講座（できれば無料）は、参加しやすいので、今後も増やして頂きたい。	求職中	求職中
	○	・私の場合はコーチング等メンタル面の内容は、仕事に直結して役立てることは難しいと思った。グループワークは様々な方とグループになることで、そこで話した人生の訓示は参考になりそうでした。	・「無料」で子どもを預けてお話を聞けるのはとても有難い。 ・1才未満の子を託児してもらえると、育休中の人を誘い易い。	就業中 正社員	育休中 1年間
○				求職中	就業中 パート
	○	・育児休暇中で、「社会との接点がありません取り残されてしまうのでは・・・」という不安があり参加した。 ・今の自分・感情を知ることや、未来を想像し、なりたて姿を決めることで実現できることを学び、また社会復帰することへ前向きに考えられるようになった。	・今後、復職してキャリアUPを望みたい場合、平日の参加が難しい。何回かに1回は土日開催も検討頂けたら・・・と思う。	育休中	復帰 2ヵ月後
	○	・仕事復帰に向けて、何よりも肝心な「気持ちの持ちよう」を学ぶことができ、復帰後に実践していきたい。		育休中	復帰 4ヵ月後
	○	・口ぐせがネガティブな言葉だったので（言ってしまう）すぐポジティブな言葉を続けて言うのが参考になりました。		求職中	求職中
○			・男性の意識の変革も大事だと思う （ただし、どこから手をつければよいかよくわかりません）	就業中 正社員	就業中 正社員
○		・女性の働き方について、現在の状況をどのように情報収集すればよいかについて知ることができました。		就業中 正社員	就業中 正社員
○		・第4回のみ参加でしたが、内容がとても分かり易く、理解しやすかったです。新聞の読み方が変わり、女性問題の記事へもすぐに目が行くようになりました。世の中の流れが身近になり、自分の問題として捉えることができるようになりました。		就業中 パート	就業中 パート
○	○	・（前半）新聞を日頃からじっくり読む時間がなく、受講時も、少し苦痛を感じつつも、同じ会社の経営記事を追って読んでみると、講座の時間は集中して考えたり、変化や発見を感じたりした。 ・（後半）私の苦手な人前で自分のことを話すことだった。しかし、今まで自分を振り返ることもなく、知らない人だから素直に話せる場として終わってみると「スッキリ感」があった。参加者は、素適な方ばかりだった。都合で継続できなかったが、どんな講座でもその時間、その場所で得られるものがあった。何かできるようになったわけではないが、前向きな一歩が出たように思う。		求職中	求職中
	○		・このような講座があること自体知らなかった。 たまたま図書館でチラシを見て知った。今度はインターネットで講座があるかチェックしたい。	求職中	求職中
○	○	・日々の新聞記事から必要な情報を取り込んで、行動につなげていくことが大切だと思いました。 ・自分の好きなことを、もっと時間をかけて真剣に取り組まなければ仕事につながらないと、改めて思いました。		就業中 パート	就業中 パート
	○	・自分自身を認める。それにより自分の中の宝を伸ばす。人はそれぞれ宝物を持っている。自覚して輝く自分の宝を成長、育成してゆけば人生が変わる。コーチングにより教わったことを伸ばし続けるにはどうしたら良いのでしょうか。	・「女性のための再就職支援講座」も受講すれば良かった。カウンセリングで自分をさらすことはできないが、自分が留まっているのはその中にある。それを言葉に出すにはどこへ行き、どうしたらよいか分からない。精神科は敷居が高い。	求職中	求職中
○	○	・「自分の才能の見つけ方」すごく楽しく、自分の身体の内側へ浸り込んだように感じます。 ・他の受講生の方が「難しい、面倒くさい」と思ったら「面白くなってきたー！」と声に出して自分に言い聞かせているとのこと。早速私も、毎日「面白くなってきたー！」と叫んでいます。	・女性はもちろん、男女で参加できると尚良いのかと思います。このような機会を設けていただけるのはすごく恵まれていると思います。職場の管理職にも、是非勉強して脳を清めていただきたい。	求職中	起業 自営業



①受講講座 前半 後半	②今後の仕事に役立てたい（役立てることができると）思った点。	⑦今後の講座や男女共同参画推進事業についての意見や要望。	④就労の変化	
			受講前	受講後
	○ ・「自分の才能の使い方①②」では、感情をコントロールすること、前向きな思考について学びましたが、これから家庭、子育てと仕事を両立していくうえで、気持ちの切り替え術として、役に立てそうだなと思いました。	・仕事に復帰後も、このような講座があれば参加したい。	育休中	復帰 看護師 2 ヶ月後
○			求職中	その他
	○ ・自分をプラス思考にさせる方法を教えてもらい、仕事や生活に役立てたいと思った。	・託児があり、参加しやすくて良かったです。	育休中	復帰 看護師 1 ヶ月後
	○ ・自分を振り返り、これからどう生きたいのか、気付く機会が持てた。自分の感情をコントロールする意識。 ・今、求職活動中ではあるが、次の自分へとステップ UP できるよう、この機会を有意義なものにしたいと思いました。	・	求職中	求職中
	○ ・今回講座を受講し、まだ起こっていないことを不安に思うことは止めようと思いました。プラス思考に変えるポイントを習い、現在実践中です。 ・現在、求職中ですが、人間関係を心配してなかなか申し込めずにいましたが、先ず、求職しようと思えるようになりました。	・今後は、50 代以上の女性対象の講座も希望します。子育てを終え、第 2 の人生を歩むための、知識、スキル講座を希望します。	求職中	求職中
○		・受講した内容も難しく、大学の講義を受けている感じ。一方的に講師の話聞く内容には、ついていけませんでした。	求職中	求職中
○			就業中 正社員	育休中
	○ ・気持ちの切り替え方など、とても参考になったので普段の生活に活かしたい。今は、就職活動中ですが、就職した際、自分自身にもっと自信を持ち、頑張ってみようと思います！！		求職中	求職中
○	○ ・他の受講者の話を聞いたのが良かった。		求職中	再就職 事務
	○ ・仕事に限らず、生きていくうえで日々の生活に自分の感情と向き合っていくことはとても大切で、そのためのヒント、そしてきっかけを頂けて良かったなと思います。		就業中 パート	就業中 パート
	○ ・自分を見つめ直すことで、今まで子育てなどで諦めていたやりたいことを、仕事に活かしたいという思いを再認識することができ、就職活動へのモチベーションが上がりました。 (実際に就職につながっていないところが残念)	・私は転職を希望しています。再就職支援、キャリア UP 支援の講座を通して自分を見つめ直し、モチベーションを上げることができました。しかし、実際に富山には自分が行きたいと思う事業所が見つかっていません。すぐに就職に繋がれる「事業」があると嬉しいです！！	就業中 その他	就業中 その他
	○		就業中 正社員	就業中 正社員
○	○ ・第 2 回の経営記事の読み方は、内容も興味深く、分かりやすかったこともあり、その後、新聞記事を見る際の参考にさせていただいています。	・時間が合えば、今後も講座に参加してみたいと思いました。	求職中 訓練中	求職中 訓練中
	○ ・日常生活の中で、言葉に気をつけることで、気持ちが変わることがよく分かったので、仕事や家で役立たせたいと思います。	・託児が無料で助かりました。	就業中 自営	就業中 自営
	○		求職中	求職中
	○ ・笑顔でいることは、大切なことだと思いました。		就業中 パート	就業中 パート
	○ ・仕事上の感情のコントロール、立て直しの具体的手法。		求職中	求職中
○	○		就業中 その他	就業中 その他
	○ ・考え方が変わっていったように思います。マイナス思考がプラス思考へと変化している自分がいます。頑張れそうな気持ちでいます。本当に良い講座に出会えることができ嬉しく思っています。		就業中 正社員	就業中 正社員
○	○ ・日経新聞を見ても良く理解できずにいたが、見出しからの記事のつかみ方がわかり、大変良かった。富山の教授から教えていただく機会はとても貴重な体験でした。どの回も分かりやすく説明がありました。	・大変すばらしい企画で本当に楽しい時間でした。この企画のチラシを見つけて、本当に良かったです。 ・ハローワークの方は（認定講座ということをご存知なく、認定時に困りました。	求職中	再就職 パート 会計事務所 事務

①受講講座 前半 後半	②今後の仕事に役立てたい（役立てることができると）と思った点。	③今後の講座や男女共同参画推進事業についての意見や要望。	④就労の変化	
			受講前	受講後
○	・新聞記事の読み方を学び、今まで何となく読んでいたが一歩奥深く理解することができた。新聞を読むことに、少し抵抗がなくなる。 問かけられても「知りません」ではなく、答えを返してコミュニケーション UP に繋げたい。		求職中	求職中
○			求職中	求職中
○ ○	・キャリア UP 支援講座では、これまでの人生を振り返り、自己分析することで自分自身のことを見直すことができた。その上で、これから再就職に向けて、自分には今どんなスキルがあって、何が足りないのかを考える良いきっかけとなりました。	・初めて子どもを預けて、安心して講座を受けることができました。今回のような講座は、私も含め育児中のお母さん方にとってとても良い経験になったのではないかと思います。	求職中	職業訓練開始
○ ○	・支援講座を通して、自己を見つめ新たに発見を見出すことができました。また、いろんな方との会話やふれ合いを通して、人とのつながりの温かさを感じ、講座が終った帰り道は、心が「おどる」ような心地よさでした。その時の気持ちを忘れず、明日への「元気」につなげられれば・・・と思っています。	・これからも、ワークショップなど楽しみにしています。ありがとうございました。	求職中	再就職パート
○			就業中 正社員	就業中 正社員
○	・歳を重ね、働き続けていく中で、世の中の情勢や情報を収集していかなければならない重要性を改めて感じました。難しいと思っていた分野のことを分かり易く説明していただけて有り難かったです。		就業中 正社員	就業中 正社員
○			就業中 パート	就業中 パート
	○ ・脳と心のしくみが分かったこと。 ・他の方々との話ができたこと。		就業中 パート	就業中 パート
○ ○			求職中	求職中
○ ○	・経済、会計、法律を分かり易く教えていただけて、勉強になった。 ・私は、自分の才能やコミュニケーション能力は、各自の経験によって養われるものだと思っているので、講座に参加されている方々と楽しくおしゃべりできたのは良かったと思う。		求職中	その他
○	・諸事情によりキャリアアップ支援講座は受講できず大変残念でした。もし機会があれば次回は是非参加したいです。（講座内容がキャリアアップにつながると考えました）	・自分を高めるためにアンテナを張って情報を得ることの大切さを再認識した。このような講座など知りえない方々も多く、公的機関（サンシップ、県民カレッジ、図書館）にもリーフレットなどの配布があれば・・・と考えました。図書館で自己啓発の半を開覧している方も見かけます。	無職 その他	無職 その他
○			就業中 パート	就業中 パート
○			就業中 パート	就業中 パート
○	・新聞の記事をどのような視点で読むか、問題となっている事柄は何か、自分が疑問に思うことは何かなどを意識しながら新聞を読むことの大切さ、面白さを再認識することができました。 その時々ニュースに関心を持つことで、社会とのつながりを感じ、自分の将来（仕事に関することだけでなく、これから先の生活や生き方も）を自分らしく考えて生きていくのに役立てることができると思いました。		就業中 正社員	就業中 正社員
	○ ・私は 1 回しか受講しなかったが、職場の人は 3 回受講され、毎回内容を聞かせてもらった。先生方の前向きな考え方に共感を持った。（苦手なことが後に強みになることもある。やる気の出る言葉を発するなど）やはり気持ちが大切なので、今は前向きな気持ちを意識しながら生活しています。	・前向きになれる講座を開催していただき、ありがとうございます。	就業中 パート	就業中 パート

#### ◎講座受講後の就労状況（再就職・復職された人数）

「受講者（事後）アンケート調査より」

（回答）50名/送付80名

	就業中	育児休業中	求職活動中	職業訓練中	その他	合計
受講前	21	4	23	1	1	50
受講後	29	2	14	2	3	50
（増減）	8	▲2	▲9	1	2	

[illegible]

## (1) 成果

今回、富山大学が中心となり、富山県総合政策局、富山県商工会議所連合会、富山県女性財団、ハローワーク富山、大学コンソーシアム富山（産学官金ネットワーク会議）と連携しながら女性の学びを通じた「再就職支援」と「キャリア形成支援」を一体的に行ったことにより、受講女性・企業・高等教育機関・自治体はそれぞれ、学びを通じた女性の社会参画につながる新たな「視点」を得ることができた。同時に、学びの「入口」の開拓や「出口」までの整備に向け、取り組むべき課題が見えてきたという点でも大きな成果と言える。

本プログラムは、当初、「出産・育児中の女性の学び直しを中心にしたキャリア形成支援」としてスタートとしたが、前半「再就職支援講座」第1回のアンケートの結果（属性欄）から、「求職活動中」や「有職者」の受講者数が、どちらも「育休中」の受講者数より多いことがわかった。特に、後半「キャリアUP 支援講座」の受講受付を開始すると「働いていますが受講できますか?」「育休中でないとダメですか?」という問い合わせが多数寄せられたことから、「出産・育児中」「求職活動中」「有職者」を問わず受講いただいて実施した。

### ① 受講（女性）への成果

前半、大学経済学部の先生方による「新聞の読み方講座」には、県内各ハローワークからの情報提供で、失業給付を受給しながら就職活動中の女性が多数受講された。これは大学が富山労働局（ハローワーク）と連携し、本講座の受講が「求職活動実績」に認定されるよう手続きして対象者にPRした効果と思われる（別紙4）。アンケートの感想欄には、求職活動としての受講をきっかけに、学問の奥深さや実生活との関わり、社会の動きに目を向けることの重要性に改めて気づいたという受講者の声も多く、50代女性は、「とても楽しく、大学に行って学び直したいと思った」と学びへの意欲を示された。

後半、託児を利用して「キャリアUP 支援講座」を受講された育児休暇中 30 代女性は、メンタルコーチのグループワークで、自分の人生（キャリア）の棚卸しを体験したり、感情のコントロールやポジティブ思考のための実践的なスキルを学んだことで、「仕事復帰に向け何よりも肝心の“気持ちの持ちよう”を学ぶことができた。復帰後に実践していきたい」と前向きな姿勢が窺え、4 か月後の復帰に向けた不安解消にもつながった。

各回講座終了後、および全8回講座終了後に実施した2つのアンケートの自由回答欄からも、本事業による「学びの入口の提供」が、育休取得後の職場復帰支援や離職者のための再就職支援にとどまらず、広義のキャリア形成（キャリアアップ）を目指しながら、女性として自分らしい生き方を選択していく上で、年代を問わず多くの受講女性の心の中に社会参加への大切な気づきをもたらす「きっかけ」となったことがわかる。

## ② 企業（大学コンソーシアム富山・産学官金ネットワーク会議委員）への成果

本事業の実施に先立ち、(産学官金ネットワーク会議)参加企業のご協力により、「育休中の社員・職員に対する職場復帰支援の実態・学び直しセミナーの必要性等」について、アンケート及び聞き取り調査を実施した。いずれも女性のキャリア形成・就業継続・管理職登用・働き方改革などに熱心に取り組む企業であることは、「富山県内 10 社アンケート結果」のほか、本事業の集大成として開催した「ミニフォーラム」における報告からも明らかである。県内産業界を代表する各企業では、富山県の実態調査結果(出産を機に約半数が離職:H25 年)とは大きく異なり、出産後の離職者がほとんどいない。育休中の社内情報提供や通信教育の受講料優遇等の職場復帰支援が充実しているほか、「イクボス宣言」をする等、女性が働きやすい環境づくりに努めている。

ところが、そうした女性活躍推進に対して先進的な企業においても、育休中の女性社員（職員）に対する「学び直し（教養セミナー）」の必要性についての設問には、「復帰不安に対する個別相談は効果があるかも知れないが、教養セミナーの効果はどうか疑問だ」「（本人に）受け入れる余裕と意欲があれば



いいが、現実には難しい場合が多いのでは？」「受講者は限られると思う」等ネガティブな意見が少なかつた。(資料 9)

確かに講座開講前には、「北陸富山の初秋から真冬に向かい、小さなお子さんを連れのお母さんが、何人参加して下さるのだろうか」という心配は大きかったが、そうした予想は良い意味で外れた。小さなお子さんを抱っこしながら、大きなマザーズバッグを抱えて来場された多くの女性たち。お子さんを託児室に預けた後は、毎回わずか 2 時間だが、「お母さん」ではないひとりの女性に戻って、大学の先生方による経済や法律の話を食べるように真剣な眼差しで聞き入り、一方、「人生の棚卸し」や「感情コントロール」、「プラス思考」等コーチングの講座では、異年齢層かつ初対面の受講者同士、明るい笑顔で語り合い、時に涙する姿も印象的だった。

各連携機関が集まり開催した実行委員会（計 3 回）において、富山の女性たちの「学び」に対する意欲は、当初の予想をはるかに上回って高いという情報提供と実情の共有ができた。産業界全体では、経験と意欲に満ちた女性の育成・能力開発という課題を見直す機会となった。「ミニフォーラム」で、ハローワークからも提案いただいたセルフ・キャリアドック制度をはじめ女性活躍のための各種サポート体制をさらに整えていただけるようお願いしたい。

### ③ 自治体（富山県）への成果

今回の支援講座には、求職活動の一環として 50 ～ 60 代の女性も多く受講された。「子育て中には、学ぶ余裕などなかった」という受講女性からは、子育てや仕事が一段落した今だからこそ、異なる世代とともに改めて「学び」を楽しむ様子が感じられた。

上記実行委員会において、連携機関のひとつである富山県（総合政策局）には、本事業の 2 つの「支援講座」を受講された幅広い年齢層の女性の「学び直し」に対する意欲の高さに対し、特に強い関心を示していただいた。富山県が、県民共生センター「サンフォルテ」で従来から開催している再就職・離職者・育休中の女性のための各種講座に加え、「働く女性のキャリア UP・リカレント教育（学び直し）」への取り組みを開始することに対して、本事業の成果も、一歩後押しができたのではないだろうか。「とてもわかりやすく、ためになる」と、今回、「再就職支援講座」の受講女性たちから大変好評を得た富山大学の先生方の講義が、新しいリカレント教育プログラムの中で実現されることを切望する。

### ④ その他連携機関（就業支援機関）への効果

前述の「ミニフォーラム」（シンポジウム）では、各企業が取り組む「女性の就労継続やキャリア形成」のための支援策について詳しく聞くことができた。会場で熱心に耳を傾けておられた受講女性からも、「女性が働きやすい環境づくりのために、いろいろな取り組みがなされていることが分かってよかった」等の感想が寄せられた。

富山県女性財団（サンフォルテ）では、常に、男女共同参画推進の視点で女性のキャリアアップ支援・就労支援に力を注いでいただき、ハローワーク富山でも同様に求職者と企業の間立った丁寧な相談支援・職業訓練をはじめとするキャリア形成等に力を入れていただいている。「学びの出口」として最も重要な役割を担う 2 連携機関からは「ミニフォーラム」の総合討論の場で、「企業側が準備するさまざまな女性活躍のための仕組みを伝えながら、両者のマッチングに力を入れたい」と力強いメッセージをいただいた。本事業の実施を機に、さらに地域が連携して「女性の学び・キャリアの形成」を支援することの必要性を感じるとともに、その効果が期待できることが確認できた。

「ミニフォーラム」開催の前日、期せずして、富山県から、新年度の組織改編で若者や女性、高齢者ら多様な人材と企業のマッチングを促すための「人材活躍推進センター」設置の発表があった（資料 1）。新たに「女性就業支援センター（マザーズジョブとやま）」を設置し、センターを中心に各機関が連携して女性の働きやすい職場づくり・求職者開拓も進められるようになる。これこそが、今回私たちが目指してきたプラットフォームである。「ミニフォーラム」に参加された受講女性たちも、「新しい相談窓口では、自分たちひとりひとりの女性のライフステージに寄り添った支援が受けられそうだ」と大きな期待を寄せている。

## ⑤個別相談（就労・育児・健康）の実施効果

本支援プログラムは、「オーダーメイド型支援」を特徴とし、富山大学男女共同参画推進室内に開設した「コーディネーターデスク」で、学びのための支援をワンストップで提供することを目標とした。4ヶ月という短期間に提供できた支援内容は限られるが、ご相談の内容によって各機関と連携を取りながら、以下のような情報提供及び相談支援を行った。

1. 「ハローワーク富山・高岡」の公共職業訓練、キャリアコンサルティングの紹介（2名）
2. 「マザーズハローワーク」の職業相談窓口への案内（4名）
3. 「サンフォルテ」の各種支援講座の案内（2名）
4. コーディネーターとの面談（2名）

本プログラムが受講者に提供した2つ目の「個別相談（育児・健康相談）」では、講座終了後の時間を利用し、小児科医師がお子さんの健康や発達に関する心配、またそれらに伴う母親としての精神的な悩みについてご相談に対応した（3名）。子育てと仕事の両立の中で、ふと気になること、ずっと気になっていたことについて、「病院受診」ではない形で、専門医のアドバイスを気軽に受けられる機会は、多忙なお母さん方にとってとても有用な支援だった。

## （2）課題

「富山型地域連携モデル オーダーメイド型学び・キャリア形成支援のプラットフォーム」の確立が、富山の女性たちに求められ、学びを通じた女性の社会参画への支援効果も大きいということが確認できたが、今後の展開に向けていくつかの課題もみえてきた。

### ① コーディネーターデスクに寄せられた個別相談から見えてきた課題

受講申込みの際に、「個別（就労）相談」を希望された方は、「育児休暇中」・「育児短時間制度利用中」・「パート就労中」等現在の就労状況はさまざまだったが、職業・職種を伺ってみると、医療・福祉・教育関係に携わる女性が多く、それは単なる偶然とは思えなかった。

それぞれに専門学校や大学を卒業し、有資格の正職員として、患者様や利用者の方々、また子ども達のために信念を持って働いてきた女性たちは、自らが子育てのライフステージに立たされた時、（周囲に援助者が見つからなければ）フルタイム勤務が当たり前の仕事との両立に悩んだ末、退職や転職の選択を迫られる状況が、まだ多いのではないだろうか。

その中のひとり A さんは、7年間も勤務されたという医療関係の職場で、育児時間短縮制度を利用されているが、「（通常より少し遅れて職場に入る時の）上司や周囲（いずれも女性）の視線が怖くて退職を考えています」と涙された。女性が仕事と子育てを両立しながら長く働き続ける上でネックとなっているのは、あるべき制度を利用し難く感じさせる職場環境で、その障壁は案外、同性同士なのかもしれない。子育て期間には「お互い様」の職場風土づくりが求められる。辛い毎日の中、「キャリアアップ支援講座」のポスターを目にされた A さんは、「これこそ今の自分に必要な内容！」と直感され、すぐに申込みをいただいた。支援講座の「学び」から人間関係の悩みを「プラス思考」で克服する力を得て、その後、何度かメールでやり取りをするうち、A さんは、就労を継続する道を選択された。

「ワンストップの支援」は重要だが、問題が複雑なほど、一人の支援者だけで解決できるケースは少ない。連携他機関をご紹介する時には、「□□という機関の〇〇さんに連絡を入れておきますので、ご相談に行ってみてください」という寄り添った支援が欠かせない。そのためにも各関係機関の支援者同士、お互いに顔の見える一層の連携が課題である。

### ② 事業実施上の課題

受講者のアンケート結果から、1歳未満も利用できる無料の託児、無料駐車場の完備、SNSはじめ様々なツールでの開催情報の発信、有職者（就労中）の女性も参加できるように平日・日中以外（土日や夜間）の時間設定の要望があった。今後、同様の事業を実施する際には、検討課題と考える。

## 資料

### 別紙 4



富山労働局・ハローワーク富山と連携して「求職活動実績」として認定できる「受講修了書」を富山大学学長名で発行しました。



「学び・キャリア形成支援事業（再就職支援講座）」について検証をしていただくため、DVDを作成し、実行委員の皆さまに視聴していただきました。

（「第 4 回 働くあなたに効く法記事の読み方」は、著作権の関係で作成しませんでした。）

### ～ご視聴いただいた実行委員からのご意見～

「テーマ（経済や法律の新聞記事の読み方など）をみただけでは、なかなか女性に受入れられないのではないか・・・と思っていたが、聴かせていただいて分かりやすく身近な事例を使っ  
ての説明を楽しく受入れることができました。今後は、この良さをどのように伝えていくかを  
考える必要があると感じました。」



### 3. 研究協議会での報告 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

文部科学省委託事業 平成30年度「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」研究協議会

## “女性の学ぶ・働く・生きる応援フェスタ”

## 1. 概 要

基調講演では女性の就労や生き方について最新の情報を提供し、当該事業の総括として、事例研究の成果を報告します。さらに、「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」を学びながら、各地域でどのように女性のエンパワーメントにつなげるか考え合う場とします。

## 2. 実 施 平成31年2月24日(日) 13:00～16:00

**3. 会 場** 東京ウィメンズプラザ (〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67)

4. 募集人員 100 人

## 5. 企画内容

(1) 時間

12:30 ~	受付開始
13:00 ~ 13:10	あいさつ
13:10 ~ 14:10	基調講演 治部れんげさん（ジャーナリスト）
14:10 ~ 14:30	事例研究成果報告
14:30 ~ 15:00	ポスターセッション
15:00 ~ 16:00	実証事業パネルディスカッション

## (2) プログラム内容

① 基調講演 (60 分)

・講師 治部れんげ（ジャーナリスト、昭和女子大学 現代ビジネス研究所 研究員）

② 事例研究成果報告 (20 分)

・報告者：瀬山 紀子（全国女性会館協議会 常任理事）

③ ポスターセッション (30 分：休憩時間も兼ねて)

出展者 ・「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」実証事業実施団体（４団体）  
・その他（６団体）

④ パネルディスカッション 女性のキャリア支援の仕組みづくり (60 分)

\*（鼎談）基調講演および事例研究成果報告を受け、女性のキャリア支援の仕組みづくりの好事例として、今年度モデル構築のための実証事業を実施している団体に取り組み事例について話し合う。

○登壇者 4 名

杉浦 浩美 (埼玉学園大学准教授) : コーディネーター  
公益財団法人せんだい男女共同参画財団  
学校法人日本女子大学  
国立大学法人富山大学  
大阪市男女いきいき財団

## “女性の学び・働く・生きる応援フェスタ” 出展ポスター ①

文部科学省 平成30年度 「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」



# 「学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援」

国立大学法人富山大学 男女共同参画推進室

Office for promotion of Gender Equality, University of Toyama  
 E-mail smart@ctg.u-toyama.ac.jp

## 背景

### 富山県の女性の就業状況

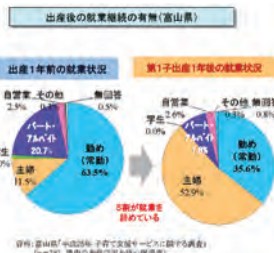
高齢化が平均より約10年早く  
 女性の労働力への期待が高まっている

女性（15～64歳）の有業率が  
 70%（全国4位）と高い

女性の平均勤続年数は全国2位  
 共働き率も高い（全国4位）

雇用者に占める女性の割合が高い  
 正社員割合も全国平均に比べて高い

職場における育児支援制度の整備  
 育児休業取得率は全国平均を上回っている



## 趣旨・目的

・独立した機関で個々に行われている職業訓練やリカレント教育などの教育機会を有機的につなぎ、受講者のニーズに沿った段階的な学びのコースを提供することで、休職期間から始める学び直しの新しいモデルを構築し、実証的に行う。

・いったん離職した女性も休職中の女性も、それぞれの希望に沿った学びの内容や受講期間を設定することで無理なく学ぶことが出来る仕組みとする。

・技能・知識・意識を一体的に高めるプログラムの構築を目指すことであらゆる立場の受講者が学びのプログラムを通して、自信と意欲を持つ職業人として再出発できるようにする。

## 実施体制

大学が中心となり、大学コンソーシアム富山（産学官金ネットワーク会議）、富山県、富山県女性財団、ハローワークが連携し実行委員会を立ち上げ、富山地域連携モデルを構築し、学び・キャリア形成支援のプラットフォームとする。学びを通じた女性の社会参画を支援し、これを実証する。



しかし・・・**出産を契機に約5割が就業をやめている**  
**出産後の就業継続の対策が必要！**

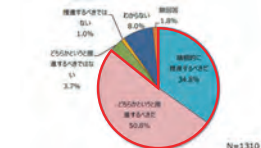
Q. 今の会社で働き続けたいと思いますか？



90%以上の女性が  
 働き続けたいと考えている

出典【平成29年度女性活躍推進調査報告書】富山県少子化対策・県民活躍課

Q. 会社で女性の活躍を推進することについて、  
 どう思いますか？



85%以上の従業員が  
 女性活躍を推進するべきだと  
 考えている

出典【平成29年度女性活躍推進調査報告書】富山県少子化対策・県民活躍課

Q. 女性活躍推進のためにどのような行政の支援・施策が必要だと考えますか？



結婚・出産を機に退職した  
 女性の再就職を支援する  
 セミナーの充実（39.3%）  
 → 女性の回答では第1位

富山県にはモデルケースとなるべき基盤が整っている

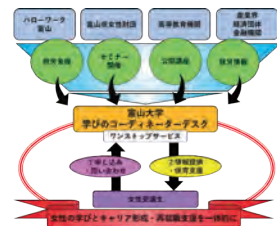
### 学び直しの受け皿

県内の高等教育機関や自治体等により、オープンクラス、富山大学サテライト講座、女性の再就職パワーアップ応援塾などすでにいくつもの職業訓練やリカレント教育が稼働している  
**→相互のつながりは無い**



## 取組概要

・各団体のセミナー等を連動させ、受講者の求める学びに応える仕組みを構築し、需要を実証  
 ・富山大学に、**学びのコーディネーターデスク**を開設し、ワンストップで学びのプラン作成から保育情報提供までを案内  
 ・参加登録をした女性が、その後再就職へと向かったのかどうかのフォローを実施



女性の学びとキャリア形成・再就職支援を一体的に行うモデルを構築する上で、関連機関が一層に会し、富山県特有の課題と成果に関して**ミニフォーラム**を開催し、事業展開の基盤とする

実施項目	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実行委員会											
受講者登録											
連携オーダーメイド型コース											
富山県「女性の再就職パワーアップ応援塾」											
富山県女性財団「再就職サポート講座」											
富山大学サテライト講座											
大学コンソーシアム富山「知る広場を開く」											
富山大学公開講座											
ハローワーク											
知識習得コース											
育児との両立支援コース											
県民レジャ											

### 連携オーダーメイド型コース

- ①再就職支援講座（全4回）
- ②キャリアUP支援講座（全4回）

### ミニフォーラム

- ・基調講演
- ・事業報告
- ・企業参加型シンポジウム

対象：主に産休・育休中の女性、再就職を希望する女性



☆コーディネーターによる  
 就職・キャリア相談  
 ☆小児科医師による育児相談  
 も同時開催







## 女性の 学ぶ・働く・生き 応援フェスタ

**基調講演** 治部れんげさん ジャーナリスト 昭和女子大学現代ビジネス研究所研究員

### 女性のキャリア形成のための「学び直し」と地域連携

**プロフィール**  
 1997年、一橋大学法学部卒。日経BP社にて経済誌記者。2006～07年、ミシガン大学フルブライト客員研究員。2014年よりフリージャーナリスト。2018年、一橋大学経営学修士課程修了。現在、昭和女子大学現代ビジネス研究所研究員、東京大学情報学専攻研究員、日本政府主催の国際女性会議WAWI国内アドバイザー、東京都男女平等参画審議会委員（第5期）、公益財団法人ジョイセフ理事、一般財団法人女性労働協会評議員。著書に『稼ぐ妻 育てる夫』（勁草書房）、「災ししない企業情報発信」（日本経済新聞出版社）等。

**パネルディスカッション**

### 女性のキャリア支援の仕組みづくり

コーディネーター・杉浦浩美（埼玉学園大学准教授）

**【登壇者】**・佐藤杏子（国立大学法人富山大学男女共同参画推進室コーディネーター）  
 ・沢田薫（一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会企画調整課長）  
 ・茂木知子（学校法人日本女子大学通信教育・生涯学習事務部生涯学習課リカレント教育課程担当課長）  
 ・渡邊ひろみ（公益財団法人せんだい男女共同参画財団総務企画課長）

モデル事業はコチラ！  
[ホームページhttps://women-manabi.com/cases/](https://women-manabi.com/cases/)

## 女性の 学ぶ・働く・生き 応援フェスタ

平成31年 2月24日 13-16時  
 @東京ウィメンズプラザ

**プログラム**

12:30～ 受付開始  
 13:00～ 開会あいさつ  
 文部科学省総合政策局長・清水 明さん

13:10～ 基調講演 治部れんげさん 詳しくは裏面を！  
 14:10～ 事例研究成果報告  
 報告者・瀬山紀子（全国女性会館協議会常任理事）

14:30～ ポスターセッション 詳しくは中面を！  
 「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」  
 実証事業実施団体（4団体）その他（6団体）が出席。

15:00～ パネルディスカッション 詳しくは裏面を！  
 基調講演および事例研究成果報告を受け、女性のキャリア支援の仕組みづくりの好事例として、今年度モデル構築のための実証事業を実施している団体と取組事例について話し合います。

**women-manabi.com**

主催・文部科学省  
 実施主体・特定非営利活動法人全国女性会館協議会 後援・内閣府男女共同参画局

ホームページ<https://women-manabi.com/>

## 女性の 学ぶ・働く・生き 応援フェスタ

**ポスターセッション 参加団体**

女性の活躍や、学び直し、就労を支援している団体など  
 10組の活動をポスター等で紹介します。

**ポスターセッション 参加10団体**

**会場：ホール**

**1 公益財団法人 せんだい男女共同参画財団**

シングルマザーと若年無業の未婚女性を中心に「学び直し」を通じたキャリア支援事業を企画しました。キャリア相談、学習支援という専門的機能の連携と、対象者の自己肯定感の変化についてご紹介いたします。

**2 学校法人 日本女子大学 リカレント教育課程**

再就職をめざす女性のための教育機関として、11年間続けてきました。女性の置かれている環境を配慮しながら、女性一人ひとりと企業が求めるニーズに柔軟に対応したカリキュラムの構築を常に目指しております。

**3 国立大学法人 富山大学 男女共同参画推進室**

「学び直しを通じたオーダーマイト型キャリア形成支援」と題し、コーディネーターデスクを設置し、受講者のニーズに沿った段階的な学びのコースを提供することで、学び直しの新しいモデル構築を試みています。

**4 大阪府男女いきいき財団 大阪府立大学 株式会社 アクセプト**

再就職、継続就労、起業、市民活動など、女性のキャリア形成についてセミナーや交流会、相談、情報提供など幅広く支援しています。大阪府立男女共同参画センター（クレオ大阪）5館などを運営しています。

**5 認定NPO法人 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ**

居場所—WACCA（わっか）を開設し、シングルマザーや生きづらさを抱えた女性たちの学び直し、就労に向けての取り組みを行っています。子どもの学習支援も行い、母子ともに並行して学びを応援しています。

**6 公益財団法人 日本女性学習財団**

75年以上にわたって女性のエンパワメントをめざす事業を行っている全国組織です。生涯にわたるキャリアデザインを男女共同参画の視点で支援する「キャリア支援デザイナー」は、現在約120名が各地で活動しています。

**7 NPO法人 浜松男女共同参画推進協会**

浜松市男女共同参画推進事業の受託者として、その専門性を活かし、啓発・相談・情報発信・団体育成等の多様な事業を展開しています。女性人材育成事業についても、年間を通して段階的継続的に開催しています。

**8 公立大学法人 福岡女子大学**

全国の男女共同参画センターなど女性関連施設490箇所（回答数259票、回収率52.9%）を対象に、就労に関する相談事業の有無、就労準備支援の内容やどのような施設・機関と連携しているのかを調査した結果報告を紹介します。

**9 公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会**

当協会では、ジェンダー平等に関する学習機会を提供しています。「北海道女性起業家支援ネットワーク事業」や若年女性向けの「ガールズ相談」、SDGsを考える「Hi-Five! さっぽろ Women's Meeting」など。

**10 NPO法人 男女共同参画フォーラム しずおか**

2015年にスタートしたJo-Shizuメンターバンクは、Web上でメンターを探すことができる女性のための静岡版人材DBです。メンターカフェ、メンター交流会、メンタリングなど、Jo-Shizuメンターバンクの取り組みを紹介します。

## 平成30年度「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」実行委員会

### 委 員

鈴木 基史	国立大学法人富山大学	理事（男女共同参画担当）
市田 蒔子	国立大学法人富山大学	学長補佐（男女共同参画推進室室長）
呉人 恵	国立大学法人富山大学	教授（男女共同参画推進室副室長）
東田 千尋	国立大学法人富山大学	教授（男女共同参画推進室副室長）
秦 正徳	国立大学法人富山大学	学長補佐（大学コンソーシアム富山担当）
新庄 幹夫	富山県商工会議所連合会常任理事・事務局長	
牧野 圭子	（公財）富山県女性財団	富山県民共生センターサンフォルテ事業課長
掃本 之博	富山県総合政策局少子化対策・県民活躍課女性活躍・働き方改革推進班長	
中川多佳子	富山県公共職業安定所	業務第二次長
山口 秀子	北陸銀行ダイバーシティ推進室長	
野崎 淳子	富山第一銀行人事企画部人材育成グループダイバーシティ推進担当	副調査役

### 実行委員会

	開催日時・開催場所
第1回実行委員会	平成30年8月29日（水）16:00～17:10 富山大学五福キャンパス事務局中会議室
第2回実行委員会	平成30年12月12日（水）10:05～11:15 CiCビル5階研修室
第3回実行委員会	平成31年3月6日（水）13:20～14:30 富山大学五福キャンパス事務局入札室

---

## 文部科学省平成30年度「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」 事業報告書

平成31（2019）年3月発行

発行者

国立大学法人 富山大学 男女共同参画推進室

〒930-8555 富山市五福 3190

TEL 076-445-6083

<http://www3.u-toyama.ac.jp/danjo/>

---





